

オンライン型インターンシップ —体験型からの新展開—

社会福祉法人 南山城学園（京都府）

住 所	〒610-0111 京都府城陽市富野狼谷2番地1
TEL	0774-54-7210
URL	http://minamiyamashiro.com/
経 営 理 念	<p>法人の基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する ・地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、共生共助の地域づくりに貢献する ・いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する
事 業 内 容 (箇条書き) 及 び 定 員	<p>【障害者支援施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円（まどか） 『準高齢者・若年重度対応』 ・紡（つむぎ） 『高齢者対応』 ・和（なごみ） 『高齢者対応』 ・魁（さきがけ） 『就労型』 ・翼（つばさ） 『自閉症対応』 ・凜（りん） 『地域移行型』 ・光（ひかり） 『自閉症対応』 ・輝（かがやき） 『高齢者対応』 ・グループホーム 『全5ホーム』 <p>【高齢者支援施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煌（きらめき） 『介護老人保健施設』 <p>【通所事業】</p> <p>○障害部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者デイサービスセンター あっぶ ・身体障害者デイサービスセンター すいんぐ ・障害者デイサービスセンター わこう ・就労移行支援事業所 さびゅいえ ・デイセンター ふらっぶ

<p style="text-align: center;">事業内容 (箇条書き) 及び定員</p>	<p>○高齢部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション 煌 (きらめき) ・高齢者デイサービス すまいる <p>【子育て支援施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もりの詩保育園 ・かぜの詩保育園 ・はなの詩保育園 ・そらの詩保育園 ・るりの詩保育園 ・すずの詩保育園 (企業主導型) <p>【相談支援事業】</p> <p>○障害部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就業・生活支援センター はびねす ・障害者生活支援センター はーもにい ・障害児 (者) 地域療育支援センター ういる ・京都府地域生活定着支援センター ふいっと ・障害児 (者) 相談支援センター リーふ ・障害者支援センター じゃすと ・障害児 (者) 相談支援センター ういっしゅ <p>○高齢部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所 すまいる <p>【診療所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南山城学園診療所 ・和光診療所 						
<p style="text-align: center;">収入 (法人全体) 令和元年度決算</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">○ 社会福祉事業</td> <td style="text-align: right;">3,887,455,052円</td> </tr> <tr> <td>Π 公益事業</td> <td style="text-align: right;">147,423,636円</td> </tr> <tr> <td>P 収益事業</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> </table>	○ 社会福祉事業	3,887,455,052円	Π 公益事業	147,423,636円	P 収益事業	0円
○ 社会福祉事業	3,887,455,052円						
Π 公益事業	147,423,636円						
P 収益事業	0円						
<p style="text-align: center;">職員数 (法人全体)</p>	<p>726名 (非常勤含む)</p>						

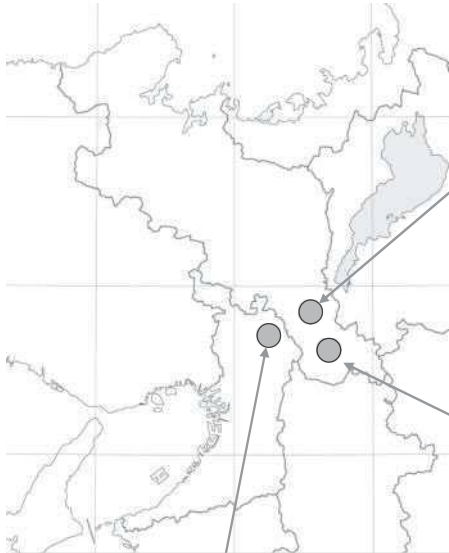


オンライン型インターンシップ

～体験型からの新展開～



1. 南山城学園の概要



京都市エリア

障害者支援施設	2 施設
障害者デイサービス	1 施設
相談事業所	2 ヶ所
診療所	1 施設
保育園・小規模保育園	4 施設

城陽・宇治エリア

障害者支援施設	5 施設
障害者デイサービス	2 施設
障害者グループホーム	6ヶ所
高齢者デイサービス	1 施設
介護老人保健施設	1 施設
相談事業所	6ヶ所
診療所	1 施設

島本町エリア

障害者複合型施設 (デイサービス、短期入所、相談事業所)	1施設
小規模保育園	1施設



2.事業の目的と背景

2020年2月：コロナウイルス感染症拡大

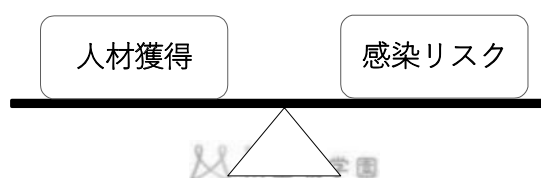
→ 各種採用説明会が中止となる

4月：緊急事態宣言が発令

→ 4回生の採用活動のオンライン化が進む

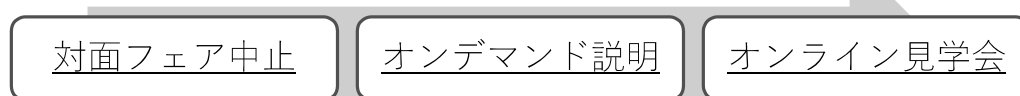
6月：3回生インターンシップ解禁

→ 学生受入れと利用者へ感染対策が喫緊課題



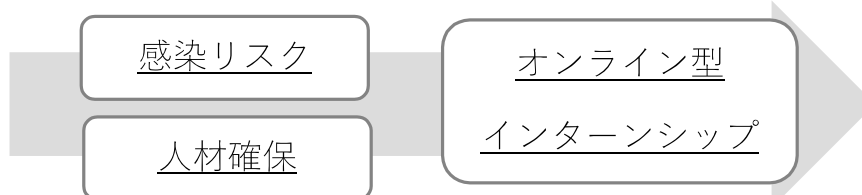
2.事業の目的と背景

4回生採用活動



応用

3回生インターンシップ



2.事業の目的と背景

法人経営を持続的に安定させる

法人ビジョンに共感する人材確保

やりきる力・学び続ける力 総合力のある学生

幅広い分野からの人材確保

社会の変化への対応 福祉系に限らず幅広く採用

法人経営にとってインターンシップは重要である



3.インターンシップの概要

《法人でのインターンシップ》

(1) 2019年度 プログラムをリニューアル

見学・体験型



見学・体験型

課題達成型



3.インターンシップの概要

《法人でのインターンシップ》

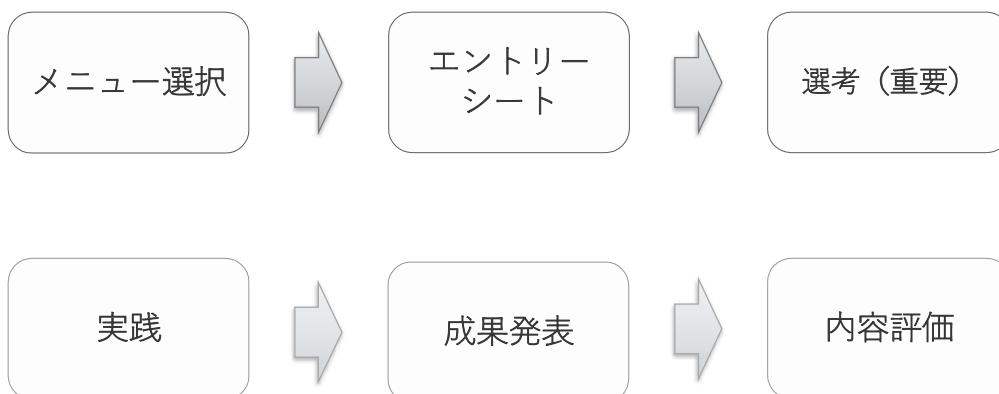
(2) 課題達成型のプログラム創設

- ① 3日で達成できる課題メニューを提示
- ② エントリーシート提出
- ③ エントリーシートにより選考
- ④ 選考決定後、日程調整
- ⑤ 最終日に課題に対する発表
- ⑥ 発表内容に対する評価



3.インターンシップの概要

インターンシップでは、課題を設定することが有効である。



選考と評価を加えることで質が高く達成感のあるインターンシップとなる



課題達成型
3回生向け
(1.2回生も可)

6月1日(火)～1月31日(日)のうち、
希望に合わせた**2～3日間** ※食事・交通費支給

①

カフェ事業を通じて、
地域密着型の障害者
支援施設実践を学ぶ



障害のある方の生活場面とカフェ事業を通して
生活支援と地域のために実践していることを学ぶ



課題達成型
3回生向け
(1.2回生も可)

6月1日(火)～1月31日(日)のうち、
希望に合わせた**2～3日間** ※食事・交通費支給

②

相談事業を通じて、
地域支援の連携を学ぶ



各相談支援事業所がもっている機能や社会資源を
活用し、地域支援をしていることを学ぶ



課題達成型
3回生向け
(1.2回生も可)

6月1日(火)～1月31日(日)のうち、
希望に合わせた**2～3日間** ※食事・交通費支給

③

法人本部の仕事と
新しい公益事業を学ぶ



組織マネジメントと新たな地域の福祉課題に対して
の取り組み内容を学ぶ



3. インターンシップの概要

《コロナ禍でオンラインを導入》

(1) 課題達成型を基礎にオンラインプログラムを作成

① 3日のプログラムを1日集約

午前（概要と課題設定） 午後（課題発表）

② Zoom・ビデオ・iPhoneなど、様々な機能を集結

4チャンネルのスイッチャを活用

iPhoneの動画を活用したバーチャル見学

事業所職員と連携したプレゼンテーション



オンライン型
1～3回生向け

6月1日(火)～1月31日(日)のうち、
指定する1日

①

異年齢保育による
子どもたちの成長と、
かかわり方を学ぶ



保育現場とのオンライン中継を実施。

職員とのお話を通し、現場での取り組みを学ぶ



オンライン型
1～3回生向け

6月1日(火)～1月31日(日)のうち、
指定する1日

②

障害者支援と、
地域とのつながりを学ぶ



障害支援の現場とオンライン中継を実施。

職員とのお話を通し、支援や地域交流について学ぶ



3.インターンシップの概要

オンライン型のプログラム

時 間	プログラム内容
10：30～11：00	法人の概要説明
11：00～11：50	各事業所の紹介（バーチャル見学）
11：50～12：00	課題提示
昼休憩 課題資料作成	
13：30～14：00	課題発表
14：00～15：00	課題評価とディスカッション



3.インターンシップの概要

課題達成型とオンライン型の比較

	課題達成型	オンライン型
実施期間	3日間を原則（2日も想定）	1日 4～5時間で実施
メニュー	4つのプログラム	障害・保育に限定
エントリー	エントリーシートと選考	エントリーシートと選考
内 容	現地でリアル体験	Zoom・iPhone等を活用
成果発表	最終日に発表	午前：課題提示 午後：発表



4. インターンシップの成果

(1) 参加者の状況

- ① オンライン型を実施したことで参加学生が増加
- ② 1回のみで終了するのではなく、複数回実施する学生が増加
- ③ 近畿圏外からの参加者が増加

(2) 採用への展開

- ① 2019年度 採用選考に進んだ学生 10名（移行率 31%）
実際に採用した学生 5名（採用率 15%）
- ② 2020年度 2名の学生が採用説明会へエントリー

※2020年度は1/10現在



4. インターンシップの成果

課題達成型とオンライン型の比較

	2019年度	2020年度 (1/10現在)
参加者数	32人	34人
実施回数	32回	41回 (7人が複数回参加)
オンライン型	0回	21回
近畿圏外参加者	1人 (東京)	6人 (東京・高知・岡山・名古屋)
採用者数	5名 (採用率15%)	応募者2名



5.まとめ

オンライン型を導入したことにより

- ① オンライン型にすることで全国各地から学生を受入れることが可能となる
- ② プログラムを1日としたことで、学生が参加しやすい環境となり、複数の事業を体験することにつながる
- ③ オンライン型を体験した後、興味のある事業を学生が主体的に選定し、リアルな実践をすることで、採用につながりやすい



5.まとめ

コロナ禍での発想を活かしたオンライン型インターンシップ

